

2015 年度ルールブック変更箇所

1.2 登録規定

1.2.1.1. 大会に参加する選手が国籍の変更を行った場合はその国籍を 1 年間使用しなければならない。その後 WSSA の新しい ID が交付される。1 月 1 日～12 月 31 日の間の最初に参加する大会登録で新しい国籍が承認された後シーズン中に国籍の変更することは不可能である。選手が国籍を変更したい場合は WSSA に申し込みをし、承認を得る必要がある。

(変更) 1.2.3 年齢別に部門分けを実施しても十分な競技者がいる場合は、限定的な規則としてバトルを含めジュニアとシニアに部門分けすることが可能である。

(変更前) 1.2.3 年齢別に部門分けを実施しても十分な競技者がいる場合は、限定的な規則としてジュニアとシニアに部門分けすることが可能である。

(変更) 1.2.3.1 ジュニア 10 歳<16 歳、シニア 16 歳以上

2015 年を例とすると、ジュニアは 1999 年 1 月 1 日から 2005 年 12 月 31 日の出生、シニアは 1998 年 12 月 31 日以前の出生である。特別なケースとして 2014 年に、ジュニアスケーターが、WFSC、アジアンチャンピオンシップ、ヨーロッパチャンピオンシップにシニアとして参加していた場合、2015 年の最初の大会で参加するカテゴリーを選択することが可能である。

(変更前) 1.2.3.1 ジュニア 12 歳未満：ユース 12 歳～16 歳未満、シニア 16 歳以上
2014 年を例とすると、ジュニアは 2003 年 1 月 1 日以降の出生。ユースは 1998 年 1 月 1 日から 2002 年 12 月 31 日の間の出生、シニアは 1997 年 12 月 31 日以前の出生である。

1.2.4 登録内容における全ての変更（ペアの名前の変更を含む）は登録期限までに済ませなければならない。登録期限後の変更は受け付けない。

1.2.5 チェックインの期限までにチェックインしなかった選手に関しては、参加不可能となる。

(変更) 1.8 登録番号

3 コーン以上の大会のスピードスラローム及びジャンプの選手に対し、登録番号(ナンバータグ)が大会の主催者によって提供される。主審判員は、競技エリアのレイアウトに応じて、競技者がいつどこにナンバータグを表示するか指示する必要がある。また、ナンバータグの変更は一切許可されない。

(変更前) 1.8 登録番号

登録番号(ナンバータグ)が大会の主催者によって提供される。主審判員は、競技エリアのレイアウトに応じて、競技者がいつどこにナンバータグを表示するか指示する必要がある。また、ナンバータグの変更は一切許可されない。

2.4.3.1 故意に衣裳を脱いだり投げたりした場合は小道具とみなす。

2.4.3.2 判断が難しい衣装については主審判員の判断となる。

(変更) 2.8.2.2 6つ以上のコーン不通過があった場合は罰則として5点の減点を課す。

(変更前) 2.8.2.2 それぞれのコーンの間を競技者が横断しなかった場合は、罰則として0.5点の減点を課す。

(変更) 2.8.3.2 転倒による減点は、2点～5点の範囲である。

(変更前) 2.8.3.2 転倒による減点は、2.5点～3.5点の範囲である。

2.8.5 音響の提出が期限を超えた場合

2.8.5.1 音響の提出が期限を超えた場合は罰則として10点の減点を課す。

2.8.5.2 音響の提出がチームリーダーミーティング（ない場合は大会前日の午後6時まで）が終了するまでに出来ない場合は大会に参加することはできない。

2.8.6 ペナルティ 審判員表

失敗の種類	減点	説明
転倒	2	軽い転倒で演技に影響なし。
重篤な転倒	5	激しい地面への転倒
制限時間	10	許可された時間外での演技終了（105～120秒）
演技の中断	5	競技者都合による演技の中断。主審判員の判断による。
コーンの移動	0.5	移動させたコーン
コーン不通過	5	5つ以上の不通過
衣裳の落下	2	眼鏡を含む衣裳の落下
衣裳の小道具としての使用	DQ	衣裳を小道具として使用
音楽の罰則	10	音響の提出が期限を超える場合

3.2.3 WFSCの場合両方のスケーターが同じ国の代表とならなければならない。

3.2.4 各ペアにはWSSAランキングの”Pair world ranking”のためのIDが与えられる。

3.2.4.1 ペアを1組以上組んでいる選手に関しては、複数のIDが与えられる。

(変更) 4.3.1.1.1 レディーという合図の後、次の指示があった後に自由形式で開始する：「オン・ユア・マークス」

(変更前) 4.3.1.1.1 次の指示があった後に自由形式で開始する：「オン・ユア・マークス」

(変更) 5.3.1 グループ内のスケーターは、試技の実施回数が同じになるように一回ずつ試技を実施する。それぞれの試技は 30 秒間隔実施できる。スケーターが最初のコーンに侵入したタイミングからカウントダウンが開始され、30 秒後にジャッジを終了する。

(変更前) 5.3.1 グループ内のスケーターは、試技の実施回数が同じになるように一回ずつ試技を実施する。それぞれの試技は 30 秒間隔実施できる。スケーターが最初のコーンに侵入したタイミングからカウントダウンが開始される。

(変更) 5.4.1.1 ベストトリックは、可能な限り多くの単一技を繰り返す構成

(変更前) 5.4.1.1 ベストトリックは、可能な限り多くの単一技を繰り返し、または同じタイプの技の組み合わせで構成される。

(変更) 5.4.3.1 ラストトリックは、可能な限り多くの単一技を繰り返す構成

(変更前) 5.4.3.1 ラストトリックは、可能な限り多くの単一技を繰り返し、または同じタイプの技の組み合わせで構成される。

5.5.1 質と量：演技の難易度の評価は、技の繰り返し回数と同様に演技の出来栄（初めから終わりまでの制御された技）についても評価される。少ない繰り返しが良好に制御され終えた演技は、繰り返し回数は多いがバランスの崩れた演技より評価される。一つのウィールがコーン同士を結ぶコーン底面の幅のライン内に進入した場合、そのトリックはライン内と評価される。

6.3.3.2.3 終了しているスライドについては試合が引き分けの時のみ使用される。

(変更) 6.3.3.5 スライドエリア外でのスライドは無効とみなされ、スライドエリア内で行われたスライドのみが評価される。

(変更前) 6.3.3.5 スライドエリア外でのスライドは無効とみなされ、失格の対象となる。

6.5.1.1 3 コーン以上の大会においては、単一のスライドの最小距離は 2m である。

6.5.1.2 複数のスライドの組み合わせは、1 試技中に 2 回以上のスライドと転換を含むことである。各スライドの最小距離は 2m (3 コーン以上の大会)、転換距離は 1m 未満とする。

変更箇所には文頭に（変更）と記載

変更前の文章は（変更前）と記載

その他、なにも記載がない箇所については追加内容

2015 年新ルール補足説明

(変更) 1.2.3.1 ジュニア 10 歳<16 歳、シニア 16 歳以上

・もう一点の変更として、今まではジュニアの区分の選手も希望すればシニア部門で出場することが出来ました。しかし、ジュニアの選手は大人よりも細かいテクニックが容易にできるため、2015 年ルールではインターナショナル大会において、ジュニア区分の選手はジュニア部門での出場のみ可能となります。(2014 年に既にシニアで参加している選手については 2015 年最初のインターナショナル大会でシニア、ジュニア選択可能)

ローカルイベント

ローカルイベントの場合は上記の 2015 年ルールに従う必要はありません。

しかし、一度ジュニア区分の選手がシニアで出場した場合は（コーンの数に関係なく）、その後の大会についてもシニアで出場しなければなりません。（ローカル大会のみ。インターナショナルについては 2015 年ルール適用の為、ジュニア区分の選手はジュニア部門にて参加しなければいけない。）

(変更) 2.8.2.2 6 つ以上のコーン不通過があった場合は罰則として 5 点の減点を課す。

コーン不通過が 5 つ以下、及び 6 つ以上の罰則は下記となります。

1 cone /-0.5

2 cones / -1.0

3 cones /-1.5

4 cones /2

5 cones /2.5

6, 7, 8, 9 cones / 5 points